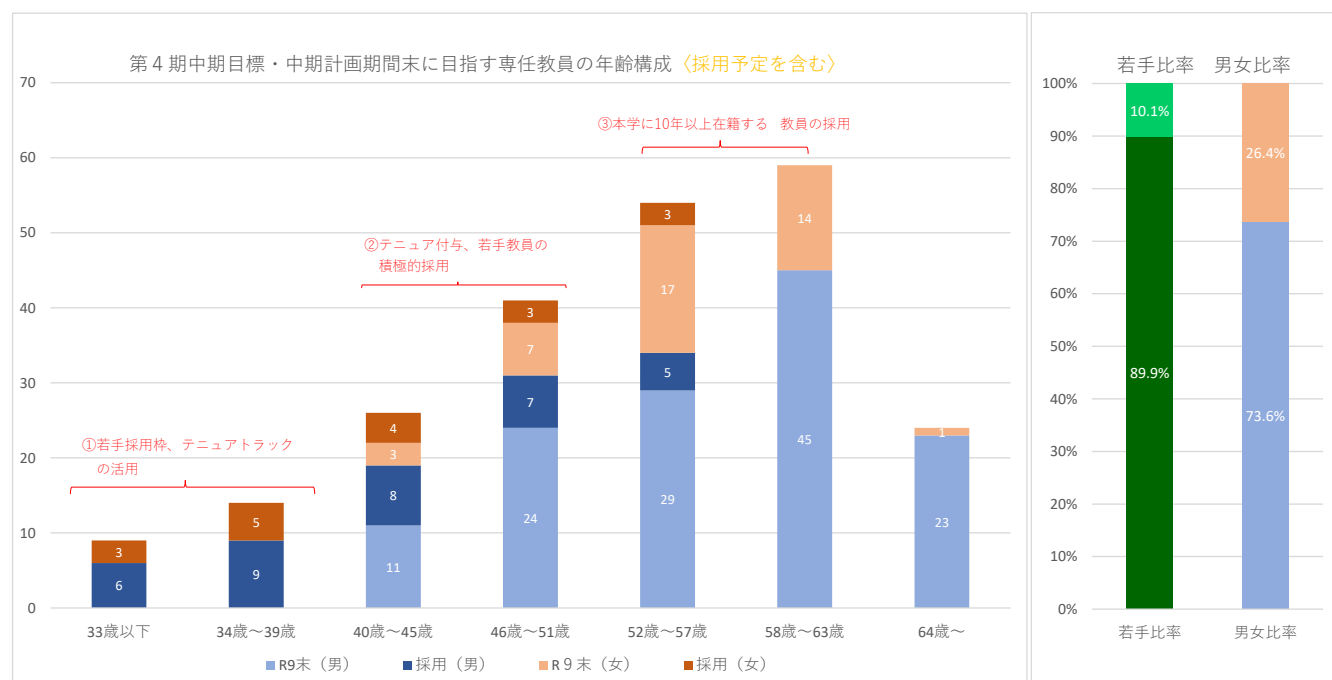
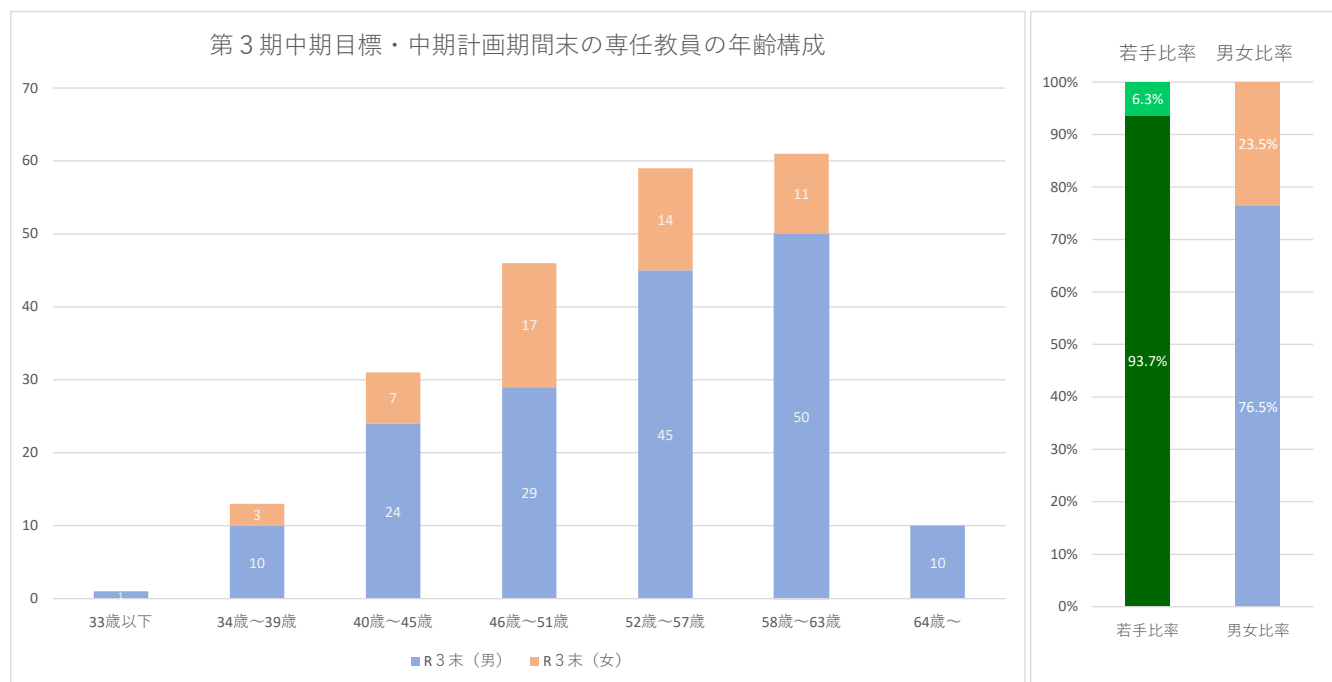


第4期中期目標・中期計画期間末に目指す専任教員の年齢構成 【和歌山大学】

第4期中期目標・中期計画期間中の退職者53名分について補充を見込む。

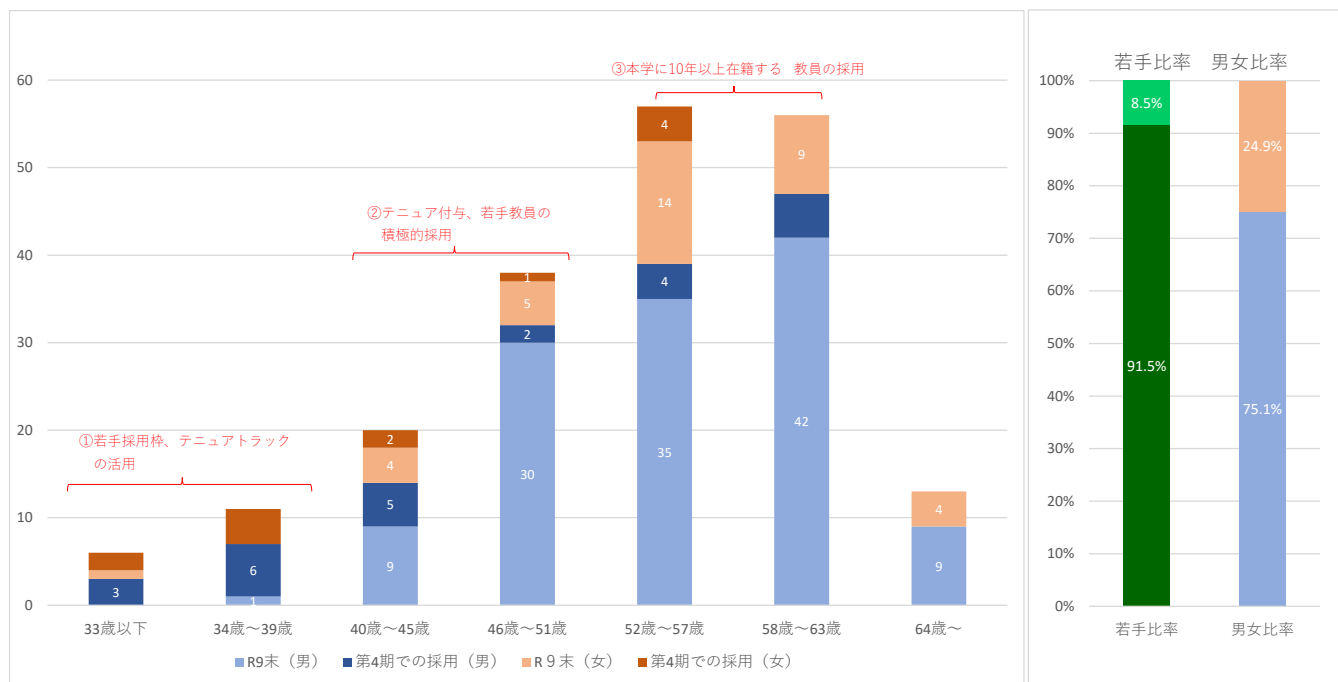
- ①若手採用特別分11名（第3期採用抑制分から5名と第4期採用予定者のうち6名）を活用し、テニュアトラック制度により若手教員を採用する。
- ②若手採用枠以外の採用においても、40歳未満の教員の採用に努める。
- ③若手以外（40歳以上）を採用する場合においても、本学に10年以上在籍し、本学の教育・研究に貢献できる人の採用に努める。



【中長期的に目指すべき理想の年代構成について】

基幹教員数の半数以上は原則として教授とするという大学設置基準の定めにより、教授とそれ以外の教員数の合計が同数となるようにする。年齢構成分布においては、58歳以上の教員の合計と57歳以下の教員の合計が同数になるように、また、若年層の年齢構成についても、世代間の格差をなくし、均等になることを理想とする。

専任教員の年齢構成（令和7年4月1日）



【令和7年4月の現況分析】

令和5年度に第4期中期目標・中期計画期間の教員採用計画を見直し、大学全体の若手教員分と設定していた採用枠を見直し、各部局に配分するとともに、採用に際しては講師以下の教員をテニユア・トラック制度で採用することとした。

これらが奏功し、若手教員比率が改善しつつある。

若手教員比率：4.9%（令和5年）→7.0%（令和6年）→8.5%

【現況分析を踏まえての対応】

若手教員の積極的な採用に継続して取り組み、また、若干伸び悩んでいる女性教員比率についても、女性の積極的な採用に努め、第4期中期目標・中期計画期間末の目標値とする教員数の確保、若手、女性教員比率の達成を目指す。

女性教員比率：22.9%（令和5年）→25.1%（令和6年）→24.9%